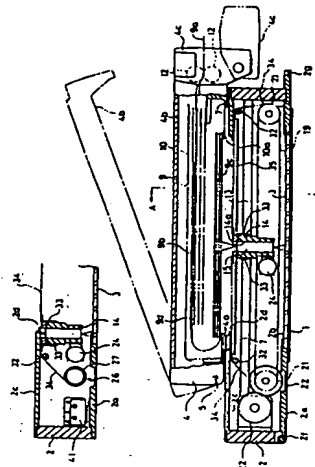


**(54) INSTANT PHOTOGRAPHIC SYSTEM COPYING DEVICE**

(11) 3-192344 (A) (43) 22.8.1991 (19) JP  
 (21) Appl. No. 1-333628 (22) 22.12.1989  
 (71) SEIKOSHA CO LTD (72) MASANORI FUJITA(2)  
 (51) Int. Cl.<sup>5</sup>. G03B27/50, G03B17/52

**PURPOSE:** To offer an instant photographic system copying device whose operation is facilitated, by which a high-quality substance to be copied is obtained and which can be miniaturized by directly forming the image of an original picture on the photosensitive surface of an instant photographic photosensitive material placed in parallel with an original picture surface by the use of an optical means which moves in parallel along the original picture surface.

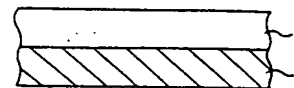
**CONSTITUTION:** The device is placed on the original picture 1 and a case 2 is opened by pressing the projecting part 2g of a bottom plate 2a with a finger, etc., then a part which should be photographed is adjusted to a window hole 2b. When the case 2 is closed thereafter, the original picture surface and a photographic film 9c are in a parallel state and opposed at the image forming focal distance of a rod lens array 15 apart. When a power source switch is turned on, a fluorescent tube 24 is lighted so as to irradiate the downward part of the rod lens array 15. Furthermore, by depressing a starting switch, a driving motor 23 is started and a carrier 14 advances from a left end standby position to a right direction through a gear wheel train 22, a belt wheel 21 and a timing belt 19. With the advancing of the carrier 14, reflected light from the original picture surface 1 is made incident on the rod lens array 15 one after another, and the image thereof is formed on the photosensitive film 9c and latent image is formed.

**(54) OPTICAL RECORDING MEDIUM AND RECORDING METHOD**

(11) 3-192345 (A) (43) 22.8.1991 (19) JP  
 (21) Appl. No. 1-331065 (22) 22.12.1989  
 (71) NEC CORP (72) TAKASHI FUKUCHI  
 (51) Int. Cl.<sup>5</sup>. G03C1/00, B41M5/26, G03C1/72, G03C1/76, G03C5/56, G11B7/00, G11B7/24

**PURPOSE:** To assure the non-destructive reading out property of the information recorded by immobilizing the molecular structure of a photochromic compd. in the optical recording medium and the preservable property of the medium by dissolving or dispersing the photochromic compd. into a thermoplastic resin.

**CONSTITUTION:** The soln. prepd. by mixing a PVC resin as the thermoplastic resin, iron naphthalocyanine as a laser beam sensitive dye compd. and a pyrenethioindigo deriv. as the photochromic compd. at 5:1:1 by weight is applied by a spin coater on a glass substrate 1 and is dried, by which the optical recording medium having a recording film 2 is obtd. The recording, erasing or rewriting of the information is executed by heating the thermoplastic resin to the glass-transition point or above to a rubber state to disturb the intermolecular steric hindrance and electrostatic interaction and simultaneously irradiating the resin with a laser beam of the wavelength with which the photochromic compd. is sensitive to induce a photo-isomerization reaction. The reading out is executed by detecting the transmitted light or reflected light of the laser beam with which the resin is irradiated.

**(54) SILVER HALIDE PHOTOGRAPHIC SENSITIVE MATERIAL**

(11) 3-192346 (A) (43) 22.8.1991 (19) JP  
 (21) Appl. No. 1-333575 (22) 22.12.1989  
 (71) KONICA CORP (72) MASATAKA NAKANO(1)  
 (51) Int. Cl.<sup>5</sup>. G03C1/035

**PURPOSE:** To provide the silver halide photographic sensitive material having excellent rapid processability, high sensitivity and high contrast by mixing  $\geq 2$  kinds of emulsions varying in Ir content under specific conditions with silver halide emulsion layers.

**CONSTITUTION:** The silver halide emulsion layers contain  $\geq 2$  kinds of the emulsions varying in the Ir content. The silver halide particles incorporated into at least one layer of the silver halide emulsion layers are preferably the high-chloride silver halide particles having  $\geq 90\text{mol}\%$  silver chloride content. The amt. of the iridium compd. to be added is preferably in a  $10^{-12}$  to  $10^{-7}$  mol range in the molar number of the iridium compd. per 1mol of the silver halide. The increase of the blending ratio of the emulsion having the higher Ir content is preferable. The defects of the prior art where changes of the sensitivity and gradation are largely increased by the illuminance of exposing are overcome in this way.

BEST AVAILABLE COPY

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平3-192344

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>

G 03 B 27/50  
17/52

識別記号

A  
Z

庁内整理番号

8607-2H  
7811-2H

⑭ 公開 平成3年(1991)8月22日

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全9頁)

⑮ 発明の名称 インスタント写真式複写装置

⑯ 特 願 平1-333628

⑰ 出 願 平1(1989)12月22日

⑱ 発 明 者	藤 田 政 則	東京都墨田区太平4丁目1番1号	株式会社精工舎内
⑱ 発 明 者	須 藤 浩 志	東京都墨田区太平4丁目1番1号	株式会社精工舎内
⑱ 発 明 者	山 岡 忠 彦	東京都墨田区太平4丁目1番1号	株式会社精工舎内
⑲ 出 願 人	株 式 会 社 精 工 舎	東京都中央区京橋2丁目6番21号	
⑳ 代 理 人	弁 理 士 松 田 和 子		

明 細 書

1 発 明 の 名 称

インスタント写真式複写装置

2 特 許 請 求 の 範 囲

(1) 原画上に設置されるケースには、上記原画を透視可能な窓穴を有する底板が回転自在に連結してある一方、上面部には上記窓穴と対向する位置関係で開口部が形成してあり、

上記ケースの上面部には、感光面と、この感光面に結像された画像の反転画像を可視画像として形成する印画面とを有するインスタント写真感光材を収容したカセットが装填可能であるカセットホルダが設けてあり、

上記ケースの内部には、上記原画の細領域を上記感光面に正立実像として結像させる光学手段と、上記光学手段を上記原画に対し平行に移動させる駆動手段と、上記原画を照らす光源と、上記感光面に不要光が到達するのを防止する遮光手段とが設けてある

ことを特徴とするインスタント写真式複写装置。

(2) 請求項1において、上記光学手段はロッドレンズアレイであることを特徴とするインスタント写真式複写装置。

(3) 請求項1において、上記光源は上記光学手段とともに移動可能に設けてあることを特徴とするインスタント写真式複写装置。

(4) 請求項1において、上記遮光手段は、上記光学手段の移動に連動して上記光学手段の投影部を除き上記開口部を遮光する遮光フィルムによって構成されることを特徴とするインスタント写真式複写装置。

(5) 請求項1において、上記遮光手段は、上記カセットホルダに押脱される遮光板であることを特徴とするインスタント写真式複写装置。

3 発 明 の 詳 細 な 説 明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、原稿、原画、写真等を複写する密着型複写装置に関する。

〔従来の技術〕

従来、原画（ここに「原画」とは原稿、写真、原画等、複写装置により複写されるものをいう。）を複写するときの一つの方法として、カメラと接写装置とを用いて複写を行っていた。

またCCD等により一度画像を読取り、その画像データを感熱プリンタ等により出力するものもあった。

#### 〔解決しようとする課題〕

しかしながら、前者の場合は、カメラ、接写装置、照明等の設定が極めて煩雑であると共に照明の影響等により複写物の品質が大幅に変化してしまう。また撮影距離により倍率が変化すると共にレンズ収差等により複写物の全面を均一な倍率とすることは難しかった。さらに装置が大型となり操作性が悪かった。

また後者の場合は、読取り部、プリンタ部を必要とし、構成が複雑となり、回路の負荷も大きかった。

そこで本発明の目的は、構成が簡単であり、操作が容易で高品質の複写物が得られ、小型とする

ことが可能であり、また複雑な回路が不要であるようなインスタント写真式複写装置を提供することにある。

#### 〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するために、本発明によるインスタント写真式複写装置は、

原画上に載置されるケースには、上記原画を通視可能な窓穴を有する底板が回転自在に連結してある一方、上面部には上記窓穴と対向する位置関係で開口部が形成してあり、

上記ケースの上面部には、感光面と、この感光面に結像された画像の反転画像を可視画像として形成する印画面とを有するインスタント写真感光材を収容したカセットが装填可能であるカセットホルダが設けてあり、

上記ケースの内部には、上記原画の細領域を上記感光面に正立実像として結像させる光学手段と、上記光学手段を上記原画に対し平行に移動させる駆動手段と、上記原画を照らす光源と、上記感光面に不要光が到達するのを防止する遮光手段とが

設けてある

ことを特徴とする。

#### 〔実施例〕

以下、本発明の一実施例を図面に基いて詳細に説明する。

まず原理を説明する。第1図示のようにインスタント写真感光材aが原画bの面に対して平行に配置してある。インスタント写真感光材aと原画bとの間には原画bの細帯状の領域をインスタント写真感光材aに結像させる光学手段cが設けてあり、光学手段cは移動手段（図示省略）により原画bの面に沿って平行移動するようになっている。なおインスタント写真感光材aと原画bの間には原画bを照らすための光源eが設けてある。したがって光学手段cを例えば左端から右端へ移動させるとその移動に伴って原画bの細領域が光学手段cを介して次々にインスタント写真感光材aに投影・結像され、これにより原画bがインスタント写真感光材aに複写される。dは遮光手段であり、光学手段からの投影光以外の光を遮光す

るものである。

第2図～第4図示のように、原画1上に載置されるケース2の底板2aは、左端位置においてヒンジ2fによりケース本体に対して回転自在に連結してあり、原画押えを形成している。底板2aには中央部に原画1を通視可能な窓穴2bが形成してあり、窓穴2bにはガラスやアクリル樹脂などで形成された透明板3が、下面が底板2aの下面と同一面となる状態で固着してある。底板2aの右端部はケース本体よりはみだして突出部2gを形成している。ケース2の上板2cには、窓穴2bと対向する位置関係で開口部2dが形成してある。なお第3図、第5図示のようにケース2内の左側部には誤動作防止スイッチ41が設けてあり、誤動作防止スイッチ41を、例えば直接メインスイッチとすることにより又はメインスイッチに直列したスイッチとすることにより、底板2aの開状態で誤ってスイッチが入るのを防止するようになっている。

カセットホルダ4には、下面に窓穴4aが設け

てあり、窓穴4aと開口部2dとを対向させる状態で、スペーサ7を介してケース2に固着してある。カセットホルダ4にはフィルムカセットを出し入れするための上蓋4bが設けてあり、上蓋4bはカセットホルダ4本体の左端部で軸5の回りに回転自在に支持されている。上蓋4bを閉じた状態にてロックするために、ロックアーム4cがカセットホルダ4本体の右端部に取付けてある。

剥離式のインスタントフィルム（インスタント写真感光材）9が複数枚収納してあるカセット10がカセットホルダ4に装着してある。インスタントフィルム9は引き出し舌片9aの後端部が二股に別れ、二股のそれぞれの端部に印画フィルム（印画面）9b及び感光フィルム（感光面）9cが対向して固着してあり、また二股の一方には袋に入った現像剤9dが取り付けられている。カセット10の内部で、インスタントフィルム9は折り畳んで収納されており、最下位置の感光フィルム9cはカセット10の下面に開けられた窓穴10aより露見し、カセット10がホルダ4にセットさ

れた状態では、感光フィルム9cは底板2aと平行して窓穴2bと対向するようになっている。カセットホルダ4に取り付けてある一對のローラ12、12間に引き出し舌片9aを通して引き出すことにより、現像剤の入った袋が破れてこの現像剤が印画フィルム9b及び感光フィルム9c間に塗られ、現像、定着が行われる。

次に第2図～第4図示のように、ケース2内には両側部に1対のガイド軸13がケース2の底面に平行に設けてあり、両ガイド軸13はキャリア14の両端部に設けた通孔及びU状溝を貫通している。したがってキャリア14はガイド軸13にガイドされ、原画1に対し平行に移動可能となっている。

キャリア14には中央部に長溝14aが形成してあり、長溝14a内にロッドレンズアレイ（光学手段）15（例えば商品名セルフアックレンズアレイ）が保持されている。ロッドレンズアレイ15は、透明板3の下面に当接した原画1の細帯状の領域の光を感光フィルム9cに正立等倍に結

像させるようになっている。

キャリア14には第4図の左端部において取付金具17及び取付ねじ18によりエンドレスのタイミングベルト19の一部が固着してあり、タイミングベルト19は後述の軸受25に軸支されたベルト車21に巻回され、ベルト車21は歯車輪列22を介してケース2に固定してある駆動手段の一部である駆動モータ23の回転に連動回転するようにしてある。したがって駆動モータ23を正逆回転することにより、キャリア14は往復移動をすることができる。なおキャリア14の移動範囲を規制するリミットスイッチ（図示せず。）がケース2内に設けてある。

キャリア14には光線24が取付けてある。光源としては蛍光灯が用いられている。この蛍光灯の外周には、ロッドレンズアレイ15下方の原画面を向く位置にスリット状のアーチャが開設してあるマスク（図示省略）が固定してあり、複写すべき原画1の細領域の照度を大きくするように設定してある。

第3図の左右側部の上方及び下方には軸受部25が設けてあり、軸受部25に遮光フィルム（遮光手段）34の巻取り手段26が回転自在に軸支してある。すなわち巻取り手段26は、巻取りパイプ27の一端部に軸28が固着してあり、巻取りパイプ27の他端部に軸29が回転自在に遊嵌している。巻取りパイプ27の内部には軸28と軸29との間にコイルバネ31が遮光フィルム34に緊張力を付与するために一定量巻き締められた状態で連結してある。軸29は延長ロッド30を介してベルト車21に固定してある。

第2図、第3図示のように、キャリア14に平行に、かつ開口部2dの対向辺よりも広い間隔で、1対の遮光フィルムガイド32、32が設けてあり、巻取りパイプ27、27に固着されその他端はアングル33を介してキャリア14に固着されている。遮光フィルム34はキャリア14の移動範囲を考慮して巻取り手段26、26に所定回数余分に巻回されている。そして取付状態においてコイルバネ31により、第5図示の左方の巻取り

パイプ27は反時計方向に回転力が付勢され、右方のそれは時計方向に回転力が付勢されている。したがって遮光フィルム34はロッドレンズアレイ15の投影部を除いて感光フィルム9cを遮光するように作用する。なお、キャリア14が第5図示の左端や右端に位置する待機状態にある時には、ロッドレンズアレイ15の投影部は開口部2dから外れ、遮光フィルム34によって感光フィルム9c全面が遮光される。

次に操作について説明する。

原画1の上に本装置を載せる(第6図)。そして底板2aの突出部2gを指等で押えてケース2を第7図示のように開き、撮影したい部分を窓穴2bに合せる。この後ケース2を閉じると(第6図)、原画面と感光フィルム9cとは平行状態となりロッドレンズアレイ15の結像焦点距離だけ離れて対向する。

そして本装置の電源スイッチ(図示せず。)を入れる。すると蛍光灯24が点灯しロッドレンズアレイ15の下方部を照射する。さらに起動ス

witch(図示せず。)を押すと駆動モータ23が始動し、齒車輪列22、ベルト車21、タイミングベルト19を介して、キャリア14が例えば左端待機位置より右方向に向かって進行する。するとキャリア14の進行にともなう次々に原画面1からの反射光がロッドレンズアレイ15に入射し感光フィルム9c上で結像して潜像が形成されていく。キャリア14の右方向移動につれて、左側の巻取り手段26から遮光フィルム34が引き出されると共に、右側の巻取り手段26に遮光フィルム34が巻取られていき、コイルバネ31の作用により遮光フィルム34はゆるむことなく遮光状態を保っている。キャリア14が右端位置に達し感光フィルム9c全面に潜像が形成されると、リミットスイッチが作動しキャリア14が停止し、一動作が終了する。

この後、インスタントフィルムの引き出し舌片9aを引いて現像剤9dを印画フィルム9bと感光フィルム9cとの間に塗布して両者を密着し、例えば約1分程度で現像が完了する。

本発明に適用できるインスタント写真感光材としては剥離式のものともモノシート式のものともがある。第8図に示される剥離式のインスタント写真感光材の場合は、原画1が例えば「F」であるとすると光学手段によりインスタントフィルム9の感光フィルム9cには「F」のミラー反転画像が潜像として形成される。そしてこの感光フィルムを引き出し現像することによりこの反転画像はさらに反転されて潜像を反転した可視画像「F」が印画フィルム9b上に形成される。

次に他のものを複写する場合は、上記と同様の手順により、ケース2を開いて複写したい部分を窓穴2bにより合わせた後、ケース2を閉じて起動スイッチを再度押すと、キャリア14が右端位置より進行して左端位置に達し複写が行われる。

上記実施例では、カセットホルダ4はケース2に固着したが、カセットホルダをケースの上面部に回転自在に取り付けることにより、カセットホルダを回転させて、フィルムカセットをカセットホルダの下側より装着する等にしてもよい。

また上記実施例では、遮光フィルム34を用いてケース2の開口部2dを遮光したがこの遮光手段としてはじゃばら等を用いてもよく、さらにケース2の底板2aの窓穴2bには透明板3を固着したが、窓穴2bを開けた状態のままにしてもよい。この他にも本実施例は本発明の技術思想を逸脱しない範囲で種々の変更が可能である。

また本発明は第9図示のようなモノシート式のインスタントフィルムにも適用可能である。モノシート式のインスタントフィルムは一面が感光面であり、光学手段により原画を反転した潜像が形成され、現像過程を経ることにより他面に反転した可視画像が形成されるものである。

以下、本発明の他の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。

まず原理を説明する。第1の実施例とは、遮光手段の構成を除き実質的に同様である。すなわち、第10図のように光源eの光が光学手段cの近辺の原画bのみを照らし、周囲へ光が洩れるのを防止する遮光手段dが光学手段cに一体に設けてあ

る。ケースf、遮光手段dによってそれぞれ外光、光源eの光がインスタント写真感光材aに到達するのが防止され、インスタント写真感光材aが感光するのが防止される。

次に具体的装置について説明する。

遮光手段の構造と、遮光板を設けた点以外は、上述の第1の実施例と同じであり、因而で第1の実施例と実質的に同じ部分には第1の実施例における番号に100を加えた番号を付してある。

第11図のように密着部材107の一部に、遮光板108を第11図の左方より挿入可能なように、溝107aが形成してある。遮光板108はステンレスの板でできており、溝107aから挿入し窓穴104aを遮蔽する幅(図示せず)及び長さを有し、左端部は上方に折り曲げられて、溝107aより引き出す際の把持部108aが形成してある。

キャリア114には中央部に長溝114aが形成してあり、長溝114a内にロッドレンズアレイ(光学手段)115(例えば商品名セルフア

クレンズアレイ)が保持されている。ロッドレンズアレイ115は通常のレンズと同様に投影範囲が決まっており、透明板103下面に当接した原画の所定範囲の光を感光フィルム109cに正立等倍に結像させるようになっている。

キャリア114には後述の光源の光が周囲へ洩れるのを防止し、下方向のみを照らすために、遮光手段である遮光ハウジング125が取り付けられている。遮光ハウジング125は光を遮蔽する材質で形成されており、窓穴102bよりも僅かに大なる長さを有し、また第11図示のように光源を取り付けるために左側が膨らんだ幅を有し、下端面は底板102aの上面に近接する位置まで延設してある。さらに遮光ハウジング125の内周側面には刷毛状の弾性ゴム126がその内側より押えた押え板127により取付けてある。刷毛状の弾性ゴム126は下方は透明なアクリル板103に当接しており、遮光ハウジング125の下端より洩れる光を刷毛状の弾性ゴム126で遮光するようになっている。

光源128は第11図の左側の押え板127に取り付けてある。操作について説明すると、遮光板108を密着部材107の溝107aに差し込んでカセットホルダ104の内部に光が入らないようにし、複写したい原画101を上向きにおき、その上に本装置を載せる。そして底板102aの突出部102gを指等で押えてケース102を第7図示と同様に開き、撮影したい部分を窓穴102bに合せる。この後ケース102を閉じると、原画101と感光フィルム109cとは平行状態となりロッドレンズアレイ115の結像焦点距離だけ離れて対向する。

そして遮光板108を引き抜いて、本装置の電源スイッチをいれ第1の実施例と同様に複写をする。なお例えば、カラーフィルムで複写していたものを途中で白黒フィルムの複写に代えたい場合には、遮光板108を密着部材107の溝107aに差し込んでカセットホルダ104の内部に光が入らないようにし、カセットホルダ104全体をケース102に対して引き抜く。次に白黒フ

ィルムが入ったカセットホルダをケース102に装着することにより、カセットホルダの交換が行われる。

また、カセットホルダ104をケース102の上面部に回転自在に取り付けて、原画の位置合せの際にはカセットホルダ104を回転して持ち上げて、複写したい面を上向きにした原画101の複写したい部分が窓穴102b内に位置するように開口部102d及び窓穴102bより透視しながら位置を確認してケース102を原画101の上に載置するようにしてもよい。

またケース102の下面の窓穴102bには透明板103を固着したが、また窓穴102bを開けた状態のままにしておいてもよい。この他にも本実施例は本発明の技術思想を逸脱しない範囲で種々の変更が可能である。

#### 【効果】

本発明のインスタント写真式複写装置は、原画面に対して平行に置いてあるインスタント写真感光材の感光面に原画面に沿って平行移動する光学

手段を用いて原画を直接結像させるものであるため、一旦電気信号に変換する場合等に比し、複雑な回路も不要で構成が極めて簡単であり、小型ハンディタイプにすることが可能である。また複写装置を用いる場合の複写装置の取付の煩雑な調整等が不要で容易に複写を行うことができ、さらに光学手段を原画面に沿って移動させながら逐次的に感光面に複写していくものであるため、インスタント写真感光材全面に渡って均一な倍率の複写物を得ることができる。

また、原画を透視可能な窓穴が形成してある底板がケースに対して回転自在に連結してあるため、ケースの開状態で窓穴により複写部分の位置の確認を容易に行うことが可能となる。

#### 4 図面の簡単な説明

第1図～第7図は本発明の一実施例を示すもので、第1図は原理図、第2図は一部断面正面図、第3図は一部を切欠して示したケースの部分の平面図、第4図は第2図A-A線断面図、第5図は光学手段が待機状態にあるときの第3図B-B線

断面図、第6図はケースを閉じた状態の斜視図、第7図はケースを開いた状態の斜視図である。

第8図は複写の過程を示す説明図、

第9図～第11図は本発明の他の実施例を示すもので、第9図は他の実施例の複写の過程を示す説明図、第10図は原理図、第11図は一部断面正面図である。

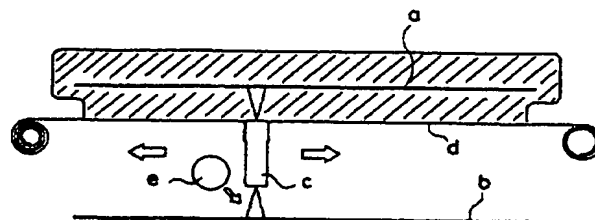
- b, 1, 101・・・原画、
- f, 2, 102・・・ケース、
- 2a, 102a・・・底板、
- 2b, 102b・・・窓穴、
- 2d, 102d・・・開口部、
- 4, 104・・・カセットホルダ、
- a, 9, 109・・・インスタント写真感光材、
- 9b, 109b・・・印画面、
- 9c, 109c・・・感光面、
- 10, 110・・・カセット、
- c, 15, 115・・・光学手段、
- 23, 123・・・駆動手段、
- e, 24, 128・・・光源。

d, 34, 125・・・遮光手段。

以 上

出 願 人 株式会社 精工 会  
代 理 人 弁 理 士 松 田 和 子

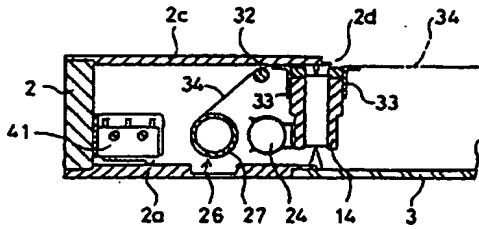
第 1 図



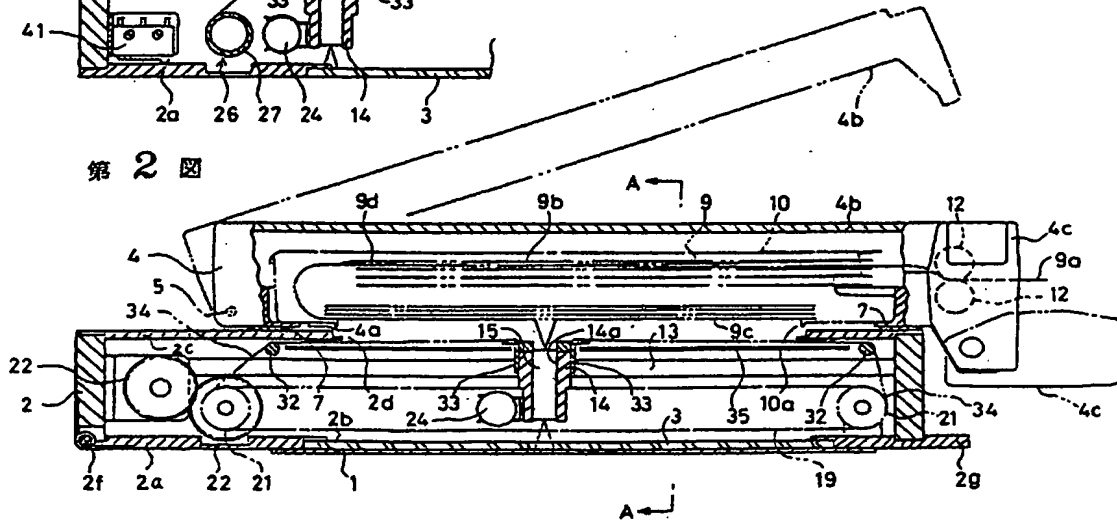
- a---インスタント写真感光材
- b---原画
- c---光学手段
- d---遮光手段
- e---光源

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1---原画          | 9b---印画面          |
| 2---ケース         | 9c---感光面          |
| 2a---底板         | 10---カセット         |
| 2b---窓穴         | 15---光学手段(ロッドレンズ) |
| 2d---開口部        | 24---光源           |
| 4---カセットホルダ     | 34---遮光手段         |
| 9---インスタント写具露光体 |                   |

第 5 図

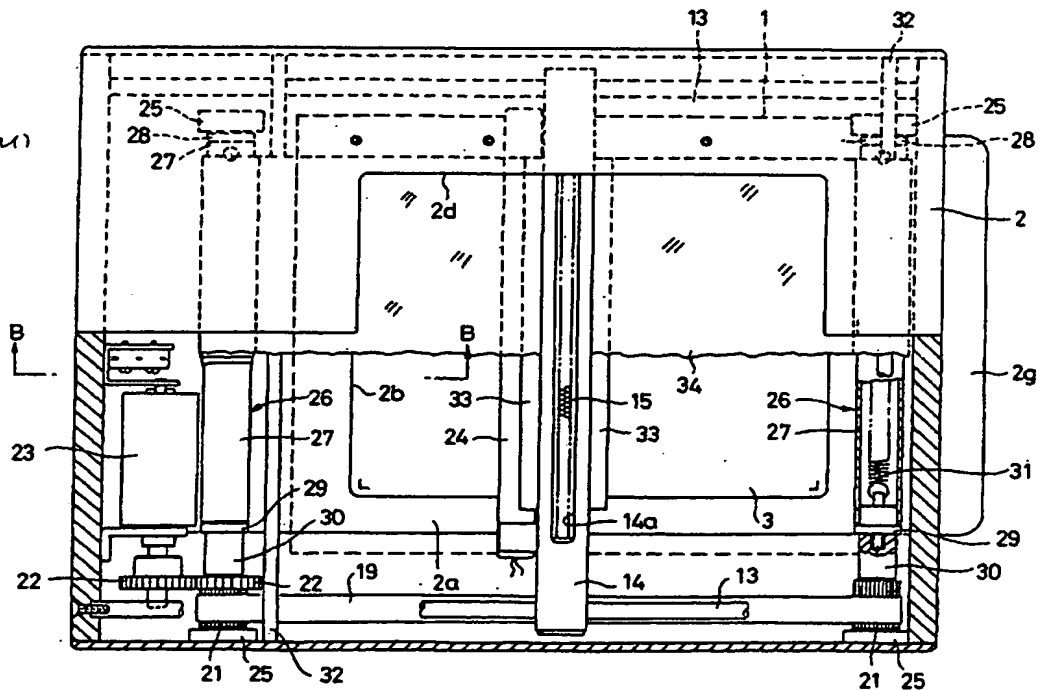


第 2 図



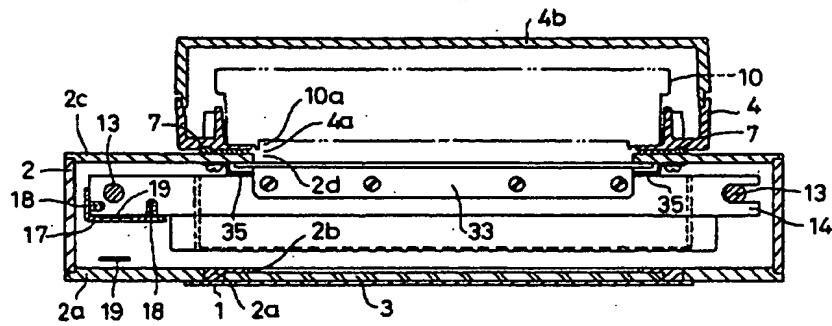
第 3 図

- |                     |
|---------------------|
| 1.....原画            |
| 2.....ケース           |
| 2a.....底板           |
| 2b.....窓穴           |
| 2d.....開口部          |
| 15.....光学手段(ロッドレンズ) |
| 23.....駆動手段         |
| 24.....光源           |
| 34.....遮光手段         |



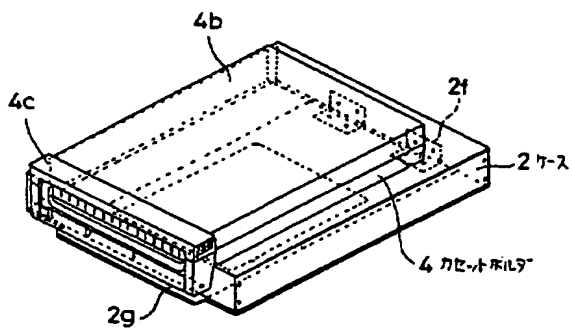


第 4 図

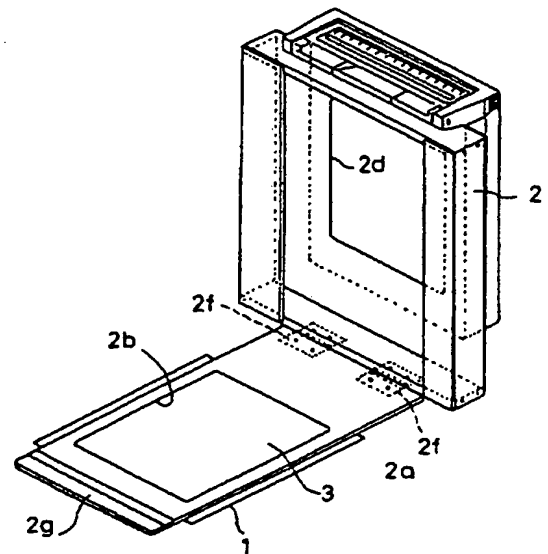


- 1.....基板
- 2.....ケース
- 2a.....上板
- 2b.....窓
- 2c.....側板
- 2d.....開口部
- 4.....カセット
- 10.....カセット
- 24.....光源
- 34.....透光手段

第 6 図

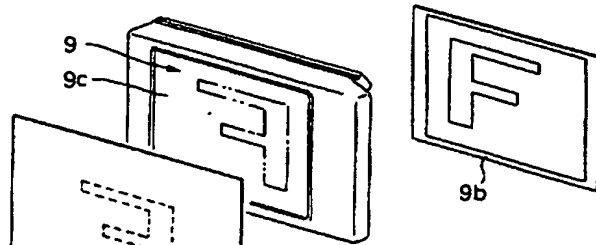


第 7 図

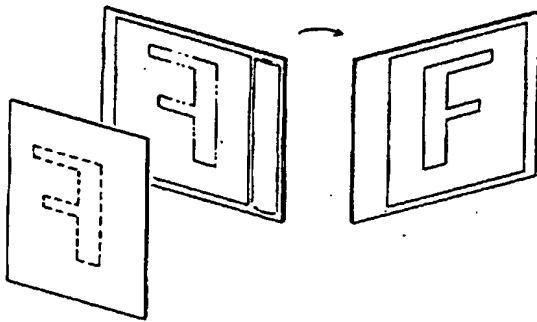


- 1.....基板
- 2.....ケース
- 2a.....上板
- 2b.....窓
- 2d.....開口部

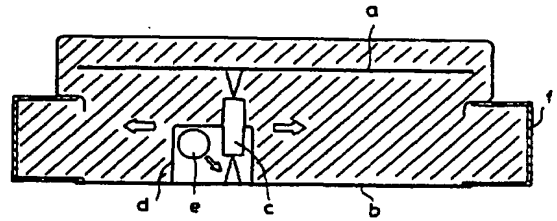
第 8 図



第 9 図



第 10 図



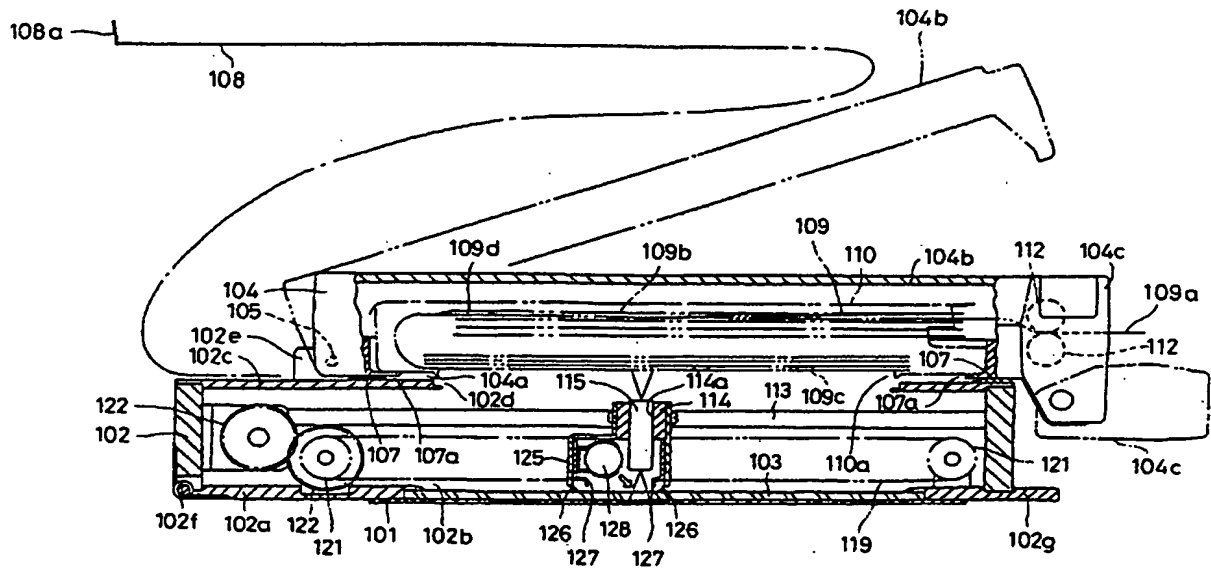
- a.....インジウム亜鉛化合物
- b.....基板
- c.....光学手段
- d.....透光手段
- e.....光源
- f.....ケース

- 101.....原画
- 102.....ケース
- 102a.....底板
- 102b.....窓穴
- 102d.....開口部

- 104.....リセリウム
- 109.....インジウム亜鉛化合物
- 109b.....印画面
- 109c.....透光面
- 110.....リセット

- 115.....光学手段 (ロッドレンズレイ)
- 125.....透光手段
- 128.....光源

第 11 図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**